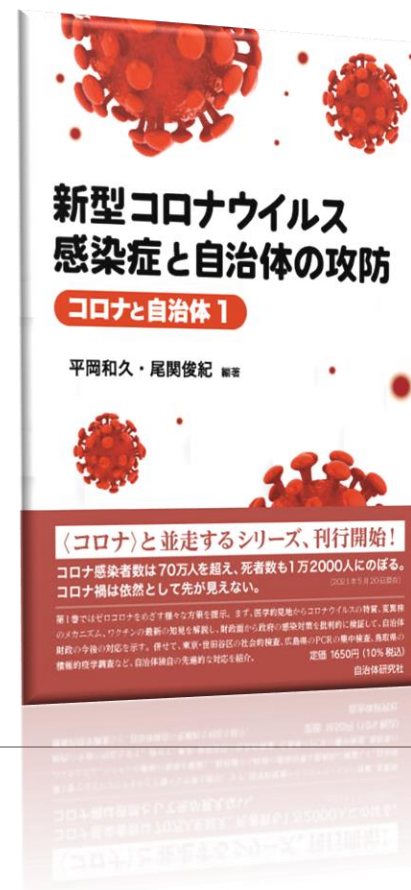


新型コロナウイルス 感染症と自治体の攻防

コロナと自治体 1

勇気の最上の部分は判断力だ。
俺はそれで自分の命を救った。
フォルスタッフ。ヘンリー4世。シェイクスピア

協立総合病院内科 尾関俊紀



コロナと自治体1の内容

1. 新型コロナウイルスの検査とワクチン 徳田安春
2. 新型コロナ禍と自治体の対応 平岡和久
3. 世田谷区でのPCR検査体制の拡充、社会的PCR検査
保坂展人
4. 広島県での社会的PCR検査 大野正喜
5. 鳥取県における積極的疫学調査 市谷知子
6. 練馬区モデルにおけるワクチン接種 齋藤文洋
7. 高知県、過疎地でのワクチン接種 大川剛史・岡上則子

新型コロナウイルス感染症の経過

世界:感染者数 633, 789, 712 死者数6, 604, 940

日本:感染者数 22, 902, 805 死者数 47, 342

(2022.11.9現在)

- 2021年3月にはアルファ株に置き換わり(世界での動向)
- 2021年6月にはデルタ株
- 2022年1月にはオミクロン株へ置き換わった。
- 2022年7月にはオミクロン株でもBA5へと変化した。

オミクロン株へのウイルス変異後の変化 1

- 1.オミクロン株は下気道(肺)よりも上気道(のど)につきやすい。
- 2.肺炎の頻度が少なく、重症化率、死亡率が低く、感染可能期間が短い。反面感染力が強く、小児にも感染する。
- 3.感染力の強いオミクロン株に対してゼロコロナをゴールとすることは難しくなってきた。

オミクロン株へのウイルス変異後の変化 2

4.換気の重要性が認識されるとともに、一律的な行動制限はさけて、高齢者、ハイリスク者中心の予防。

5.保健所への報告は、65歳以上、入院を必要、重症化リスクがあり、投薬か酸素投与が必要な人、妊婦者に限られた。それ以外は自身で自治体の健康フォローアップセンターへ登録、相談することとなった。患者数は引き続き報告される。隔離期間も短縮された。

ウィズコロナ時代の感染予防・健康増進と自治体 1

- 1.ウィズコロナはコロナがないかのように振る舞うことではない。流行が予想される変異株の特徴に合わせて、科学的知見に基づく予防が必要となる。
- 2.コロナウイルス感染症後遺症、ワクチン副反応への対処。
- 3.パンデミックによる社会生活障害による健康被害(フレイル・受診中断など)への対策が必要。

ウィズコロナ時代の感染予防・健康増進と自治体 2

4.自治体の健康フォローアップセンターの円滑運営が大切。

5.都道府県からの「対策強化宣言」「医療非常事態宣言」が提案される中で、地域の実情にあった、きめの細かい対策を行う上で自治体の役割は大きくなっている。